

Afternoon Concert

～ クラシックとジャズと朗読のひととき ～

クラシック



松本 紘佳
(ヴァイオリン)



松本 有理江
(ピアノ)

シューベルト:

ヴァイオリンソナタ イ長調
作品162-D574

プーランク:ヴァイオリンソナタ

クライスラー:中国の太鼓

マスネ:タイスの瞑想曲

ジャズ&朗読



東 ゆかり
(ピアノ)



加藤 真一
(ベース)



若松 雅子
(ヴォーカル・朗読)

<ジャズ> ピアソラ:悪魔のロマンス
オブジビオン

チャップリン:映画「モダン・タイムス」より
スマイル

<朗 読> 新美南吉:でんでん虫の悲しみ
里の春・山の春

朗読に音や歌を添えてお届けします

2019年3月9日(土) 14:00 (開場: 13:30)

入場料: 3, 000円 全自由席 (定員200名)

*事前申込不要、当日会場にてお支払ください。

*未就学児のご入場はご遠慮ください。

会 場: 鎌倉女子大学 二階堂学舎 松本尚記念ホール
(鎌倉市二階堂890-1)

Profile

クラシック

松本紘佳（ヴァイオリン）

1995年生まれ。10代前半より演奏活動を開始し、2008年ブダペストにてリスト室内合奏団とのヴィヴァルディ「四季」弾き振りでデビュー。2010年ハンガリーとスロヴァキアにてジェール交響楽団とチャイコフスキーとメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を協演し、国営テレビ局、ラジオ局にて放映された他、国内主要オーケストラと協演をしている。2006年ウィエニャフスキ・リプスキ国際コンクール第2位、2007年全日本学生音楽コンクール小学生の部東京大会、全国大会第1位他受賞多数。明治安田生命クオリティオブライフ奨学生、文化庁新進芸術家海外派遣研修生として留学。ウィーン市音楽芸術大学を最優秀の成績で卒業。現在、同大学大学院及び慶應義塾大学総合政策学部にて在学し演奏活動を行なっている。

松本有理江（ピアノ）

国立音楽大学、同大学院を共に首席卒業。武岡賞、クロイツァー記念賞を受賞。ハンガリー政府給費を受けリスト国立音楽院に留学。故菅野洋子、弘中孝、F.ラドシュ各氏に師事。結婚育児と並行し国内外での演奏活動を行う。2014年よりウィーン国立音楽大学講師を務めた。

ジャズ&朗読

東ゆかり（ピアノ）

国立音楽大学大学院修了。専門は音楽教育学。著書に『楽しく・やさしく・確実な歌の伴奏法入門（音楽之友社）』（単著）『子どもの歌93（カワイ出版）』（共著）『音楽の授業をつくる一音楽科教育法（大学図書出版）』（共著）他。ピアノを大山千鶴子、落合千代子、岡山京子の諸氏に師事。1998年より異なるジャンルのミュージシャンをゲストに迎えてのコンテンポラリーミュージックシリーズ「Interperformance」を開催。鎌倉女子大学短期大学部教授。

加藤真一（ベース）

北海道出身。1985年猪俣猛トリオに抜擢され上京。大友義雄、遠藤律子、中村誠一、土岐英史、辛島文雄、向井滋春等のグループに参加。2002年、富樫雅彦（JJ Spirits）参加。佐藤允彦とTito CABEZA結成。2005年佐藤允彦（saifa）にてメールス、ノースシージャズフェスティバル出演。アラキネマの音楽に参加したり、ミュージカルに曲を提供したり活動は多岐にわたる。故前田憲男、市川秀男、森山威男、嶋津健一、井上ゆかり、スガダイローらとのトリオや自己のバンド（B-HOT CREATIONS）を率いる。リーダー作は13枚。最新作はコントラバスソロによる「Alone」。美しい音色と繊細さ、重厚なリズム。ジャンルを超えた多様な演奏スタイルは今や日本の音楽界に欠くことのできない存在。

若松雅子（ヴォーカル・朗読）

劇団青年座養成所に入所。舞台を中心に映画、テレビなどに出演。劇団退団後、子育てをしながら朗読と音訳を始める。ジャズヴォーカルを三槻直子、かなさし庸子、斉田佳子の諸氏に師事。現在は青山、六本木など都内や鎌倉のライブハウス等でジャズヴォーカルやピアノ、ベースとの即興演奏と朗読をおこなっている。葉山在住。

会場：鎌倉女子大学二階堂学舎
鎌倉市二階堂890-1
（駐車場はございません。
公共交通機関をご利用ください。）

交通：JR鎌倉駅（東口）下車
・京浜急行バス5番乗り場
「ハイランド循環・鎌倉霊園正門前太刀洗・
金沢八景駅」行のいずれかで
「杉本観音」バス停下車徒歩2分
・タクシーでは駅から約10分



JR横須賀線「鎌倉駅」東口下車。5番乗場から京急バスで約10分。
「杉本観音」で下車し100m程戻る。住所／鎌倉市二階堂890-1